

第 13 回教師 &
専門家のための

不登校問題研修会

『子どもへの働きかけのあり方とは…』

学校長 様
諸機関・諸施設長様
教育相談・生徒指導ご担当様
養護教諭・スクールカウンセラー・心の教室相談員様

教師&専門家のための不登校問題研修会について(お願い)

当不登校問題研究会の研修も 13 年目を迎えます。昨年は全国から 649 名の参加があり、大変好評をいただきました。今年も引き続き、文部科学省、全国都道府県教育委員会連合会(全国都道府県教育長協議会・全国都道府県教育委員長協議会の連合会)の後援で【第 13 回教師&専門家のための不登校問題研修会】を開催致します。

小・中・高の生徒指導、養護、相談室の先生方だけでなく、不登校にかかわる現場の先生方、児童相談所の相談員の方、幼稚園の先生方、保育士の方々、他広く不登校を含めた子ども達の様々な問題行動にかかわる領域で活動をされている方々を対象に行います。

講師の先生方は実際の不登校児童・生徒を深く理解し、それぞれの専門分野で活躍されている我が国を代表する先生方をお招きしております。

受講される皆様が不登校に関する理解と取り組み(対応)を様々な角度から学び、その実践に生かして頂くことができれば幸に存じます。

是非、この問題に取り組んでいる先生方にご参加頂きたく、ご回覧などのご配慮をお願い申し上げます。

(社)青少年健康センター・不登校問題研究会 幹事 牟田武生

開催主旨

不登校児童・生徒数は様々な機関の対策や努力にもかかわらず、増加傾向に歯止めがかかっていません。更に年齢層の幅の広がりとともに LD、AD/HD の子ども達も含まれるようになり、多様な様相を示しています。不登校のことが学校教育や家庭教育で問題にされ始めてからもかなりの時間が経過し、学校教育、心理、社会福祉、医学、保育、社会学等、広い範囲の領域において、様々な試みがなされてまいりました。しかし、一領域の対応では効果的な結果が得られず、今日、総合的かつ連携的な取り組みと、理解及び援助者の育成が急務になってきております。

今年 4 月に発表された文部科学省の「不登校調査研究協力者会議の報告」を踏まえ、今年度は『子どもへの働きかけのあり方とは…』を探りながら、不登校問題に含まれるいじめ、学級崩壊、LD、AD/HD(注意・欠陥/多動性障害)、高機能自閉症等の今日の教育問題を一緒に考えていきます。特に今年度は幼児期からの様々な問題行動、LD、AD/HD、高機能自閉症を示す子ども達の対応のあり方について昨年度より 2 日間延長して、より専門的にアプローチしていきます。

主 催 (社) 青少年健康センター・不登校問題研究会

開催要項

日時 平成15年8月25日(月)～29日(金)

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

カルチャー棟大ホール(東京都渋谷区代々木神園町三番一号)

受講費 全期間 30,000円(学生15,000円) 四日受講 25,000円(学生12,000円)
三日受講 20,000円(学生10,000円) 二日受講 16,000円(学生8,000円)
一日受講 8,000円(学生8,000円)

※学生の方は学生証コピーを同封またはfaxしてください。

定員 700名(受付は先着順、定員になり次第締め切りになります。)

受講対象 教師及び教育関係者・児童相談所相談員・教育相談担当者(カウンセラー・セラピスト・ケースワーカー・臨床心理士・医学関係者・学生)・不登校問題に携わる方・保護者の方

申込方法

①パンフレット内の申し込み欄に必要事項を明記のうえ、下記にご郵送あるいはファクシミリでお送り下さい。申込書を送付いただいた段階でお席を確保致します。(確認のご連絡は致しませんのでご容赦ください。)

【申込書の郵送及びfax送付先】

〒233-0013 横浜市港南区丸山台2-26-20 教育研究所内 不登校問題研究会事務局

TEL. 045-848-3761(代) FAX. 045-848-3742 (<http://member.nifty.ne.jp/KYOKEN/>)

②申込書送付後、なるべく早く下記いずれかの方法で受講料をお振込み下さい。入金が確認され次第、受講証・会場地図他と領収書をお送りいたします。入金が遅くなる場合はご連絡ください。

【受講料振込み先】

- ・現金書留 〒233-0013 横浜市港南区丸山台2-26-20/教育研究所内 不登校問題研究会事務局
- ・銀行振込 みずほ銀行洋光台出張所(398) 普通 1310372 不登校問題研究会 幹事 牟田 武生
- ・郵便振替 00260-1-69863 不登校問題研究会

※①・②の手続きが完了して申し込みが成立致します。

申し込み受講のご注意

- ①申込書は楷書でご記入下さい。また、夏休み期間中の受講証他のご送付先として、自宅住所、電話番号もご明記下さい。
- ②原則としてご入金後の取り消しはできません。
- ③郵便振替でのご入金は着信までに1週間ほどかかります。8月10日以降にお申込みの場合は、必ず電話でお席を確保の上、ご入金ください。
- ④テキスト・資料などは当日会場でお渡しいたします。
- ⑤受講証は必ずご持参下さい。
- ⑥会場での録音・録画はお断りいたします。
- ⑦天災等により、一部地域で交通機関の混乱等があっても研修会が開催された場合は参加費の返金はできません。ご了承下さい。
- ⑧止むを得ない事情により、講師を変更する場合がございます。その際にご容赦ください。
- ⑨昼食はセンター内レストラン及び周辺の飲食店などを各自ご利用下さい。

宿泊のご案内

会場となるセンター内の宿泊施設の利用が出来るよう、お部屋をご用意しています。(個室・バス/トイレ付・食事なし)ご希望の方は、必ずお電話で事務局までご連絡下さい。また、部屋数の確保(40室)には限りがあります。定員になり次第締め切りとなりますので、ご希望の方はお早めにお問い合わせ下さい。

宿泊費用：1泊/5,000円(お部屋代のみ、食事なし・税込み)

申し込み先：教育研究所 ☎045-848-3761 担当 田村まで

平成 15 年度 夏期セミナー/第 13 回教師&専門家のための不登校問題研修会

※初日の開場は会場の都合により午前 10 時ごろを予定しています。

	時間	研修テーマ・講師	講義内容紹介
八月二十五日(月)	11:00 ~ 12:00	『少子・高齢化時代における子育て支援』 —子どもの自立と参加を考える— 厚生労働省 雇用均等・児童家庭局育成環境課 児童健全育成・児童環境づくり専門官 鈴木 雄司	児童虐待から大人の社会的ひきこもりまで、今日の家庭は様々な問題を抱えている。行政の立場からそのような状況の中で、居場所作りを含めた家庭支援のあり方を述べる。
	13:20 ~ 14:20	不登校問題調査研究協力者会議による 『今後の不登校への対応の在り方について』 (報告) について 文部科学省 初等中等教育局児童生徒課 課長補佐 小林 万里子	今年の 4 月に「不登校問題に関する調査協力者会議」の最終報告がなされた。その主旨と今後の不登校の対応のありかたについて、文部科学省の担当官が具体的に報告する。
	14:40 ~ 16:30 ◆	『不登校追跡調査から見えてきた 今後の対応のあり方』 文部省「不登校追跡調査」代表 大阪市立大学 大学院教授 森田 洋司	「不登校の追跡調査」代表、「不登校に関する調査協力者会議」副主査を務める我が国を代表する社会学者。シャープな分析から不登校問題やいじめの本質的な問題について鋭く迫る。明日の学校のあり方が明確になる。『全教員・保育士必修講座』
八月二十六日(火)	10:00 ~ 11:50 ◆	『不登校・ひきこもり・出社拒否をめぐる』 北の丸クリニック所長 (社) 青少年健康センター常任理事 倉本 英彦	精神医療の臨床現場で不登校・ひきこもり・出社拒否問題に取り組む医師の第一人者。国際的な精神医療の研究者でもある講師から、今日の若者が抱える精神的な問題の実態と対策・医療との連携を具体的に聞く。『養護教員必修講座』
	13:20 ~ 15:20 ◆	シンポジウム『僕達が不登校になった理由』 コーディネーター NHK 週刊子どもニュースキャスター 池上 彰 パネラー：様々なタイプの不登校経験者 3 名	不登校体験者の生の声は不登校にかかわる教師や相談員にとって、抱えている臨床を理解する最高の手がかりになる。体験者が感じた学校・先生・勉強・家族等についての不登校時の心情を聞き、明日の教育相談に役立てたい。『毎年・大好評の講座』
八月二十七日(水)	10:00 ~ 11:50 ◆	『不登校の心理分析と再登校への援助方法』 国際学院埼玉短期大学教授 金子 保	不登校問題の大ベテラン。実践的な研究を続ける第一人者から毎年学ぶことは大変多い。豊富な教育相談の技術と心情は金子理論(節)を支える。その子供達を思う気持ちは明日の学校教育相談活動に勇気と力を与えてくれる。『相談者必修講座』
	13:20 ~ 14:50 ◆	『YG 検査に見る、タイプ別指導のあり方』 教育研究所所長 教育コンサルタント 牟田 武生	ひきこもる不登校は何故増えるのか？ひきこもる子ども達はどのようなタイプなのか？「様子をしばらくみましょう」という対応をすると、いつまでも、ひきこもってしまうが、どう対応したら良いのか。働きかけの基本を考える。『基本講座』
	15:10 ~ 17:00 ◆	『不登校と児童生徒のストレス』 —対応には受容と指導のバランスを— 南山大学教授・精神科医 梅垣 弘	子ども達が抱えるストレスは不登校の問題にも大きな影を落とす。精神科の医師でありながら、不登校問題は「医療より教育的対応」の重要性を説く。子どもへの対応と共に大人達の抱えるストレスの予防や対策も見える。『養護・教育相談必修講座』

八月二十八日(木)	10:00 ~ 11:40 ◆	『不登校にしない 幼児期の配慮・問題行動のなおし方』 国際学院埼玉短期大学教授 金子 保	「全ての問題行動は幼児期に芽がある」と考える講師は、長年、大学で保育士や幼稚園教諭を育成してきた。幼児期・小学校低学年で現れる様々な問題行動を早期発見、早期対応して高学年まで引きずらない方法を講義する。『幼・小担任必修講座』
	13:20 ~ 15:00 ◆	『“難しい”親とのかかわりの方法』 早稲田大学人間科学部教授 菅野 純	子を放任する親・思い込みが強く、聞く耳を持たない親・被害感が強い親・他罰的で攻撃的な親・表現力の乏しい親・かかわりを拒否する親等、「難しい親」と、どう面接し、信頼関係を築くか。最も大切な教育相談技術を学ぶ。『担任必修講座』
	15:20 ~ 17:00 ◆	『LD・ADHD と呼ばれる子ども達』 —新しい特別支援教育の展開— 東京学芸大学教授 (副学長) 日本LD学会長 上野 一彦	特定分野に困難や不適合を示すLD・ADHD児と言われる子どもについて、学会の第一人者から最新の研究情報を含め、どのような特徴や問題点があるのか、学校教育現場での対応の留意点や配慮について学ぶ。『全教員必修講座』

※先生の到着予定時間の都合で28日はお昼休みが若干長くなっています。

八月二十九日(金)	10:00 ~ 11:30	『AD/HD の理解と支援①』 ~医学からみたAD/HD~ 国立特殊教育総合研究所 情緒障害教育研究部長 渥美 義賢	最前線で研究活動を行なう我が国トップの研究者。「AD/HDとは何か」について医学的立場からわかり易く解説を聞く。学校生活での配慮のあり方、日常生活で注意すべき点、等を明確にする。最前線の知識を明日の教育に生かそう。『全教員必修講座』
	13:00 ~ 14:30	『AD/HD の理解と支援②』 ~園・学校における対応~ 国立特殊教育総合研究所 情緒障害教育研究室長 花輪 敏男	AD/HDの子供達に対しての学校教育での取り組み方を具体的に明確にしていく。学習の進め方、学級経営、相談活動、保護者とのかかわり方等、最前線の研究と長年の教育相談での豊富な臨床を基に講義される。毎年大好評の講座『全教員必修講座』
	14:50 ~ 16:00 ◆	会場からの質疑に答える 『不登校・LD・AD/HD ・高機能自閉症何でも相談室』 相談員/渥美 義賢&花輪 敏男	日頃、悩んでいること、子どもや親とのかかわりの中で困っていること、教育相談のあり方や学習指導、学校対応について何でも聞いてみよう。

◆のマークは時間内に質疑時間があります。

不登校問題研修会 申込書(平成15年 月 日) ☆ _____

勤務先名 ※領収書宛名	勤務先所在都道府県名 ()	申し込み・受講のご注意をお読みになり楷書で丁寧にお書きください。受講証の発送が夏休みに入ることも考えられますので、ご自宅の住所は必ずお書きください。
参加者氏名 (ふりがな)	ご自宅住所・ご連絡先	該当する□にチェックし、金額をご記入ください。
	〒 - TEL	受講日 <input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> 26 <input type="checkbox"/> 27 <input type="checkbox"/> 28 <input type="checkbox"/> 29 申込方法 <input type="checkbox"/> 郵送 <input type="checkbox"/> Fax お支払方法 <input type="checkbox"/> 現金書留 <input type="checkbox"/> 銀行振込 <input type="checkbox"/> 郵便振替 お振込金額 _____ 円
	〒 - TEL	受講日 <input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> 26 <input type="checkbox"/> 27 <input type="checkbox"/> 28 <input type="checkbox"/> 29 申込方法 <input type="checkbox"/> 郵送 <input type="checkbox"/> Fax お支払方法 <input type="checkbox"/> 現金書留 <input type="checkbox"/> 銀行振込 <input type="checkbox"/> 郵便振替 お振込金額 _____ 円

※この研修会への参加を契機に、ぜひそれぞれの地域で経験交流を深め、お互いの取組の質を高めていただきたいとの主旨で参加者名簿を配布させていただきたいと考えております。名簿はお名前とご勤務先名のみ表示ですが、名簿への掲載を望まない方は次の□をチェックしてください。(名簿への掲載を望まない □)